

OHチェア 組立説明書

RZG-201

この度は、弊社製品をご購入頂き誠にありがとうございます。
当製品を組み立ててご使用頂く前に、必ず本紙【組立説明書】および本体付属の【安全上のご注意】をよくお読みのうえ、内容をご理解してください。

●ご用意ください。

- 手袋** → スチール製部品がございますので組み立ての際、必ず着用してください。
- プラスドライバー** → ボルトの締め付けに、ご使用ください。

●組立部品のチェックをしてください。

品質の管理には細心の注意を払っておりますが、不都合な点や不足の部品等につきましては、お買い求めの販売店又は下記のサポートセンターまでご連絡をお願い申し上げます。
その他、製品に関するお問い合わせやご要望などございましたら、お気軽にご相談ください。

●使用上のお願い

- ▲ 年に1~2回の部品点検をお勧めします。
- ▲ 組み立てに使用しているボルトは、長期間の使用に際しゆるむことがありますので、定期的に締め付けてください。
- ▲ 座面の上に立ったり、踏み台には絶対しないでください。
- ▲ 昇降レバーを上げる時、腰を浮かすと座面が上昇します。また、座ったまま昇降レバーを上げると座面は降下します。
- ▲ 昇降レバーは、絶対に押し下げないでください。故障の原因になります。
- ▲ 当製品を第三者に貸したり譲渡される場合は、本紙【組立説明書】と本体付属の【安全上のご注意】を必ず添付し、取扱い方法を十分に説明してください。
- ▲ 本体付属の【安全上のご注意】は、取り外さないでください。
- ▲ 当製品は、誤った方法で組み立てをされたりご使用されますと、当製品や周辺環境（床や壁等）の破損、または思わぬ事故やケガの原因となる場合がございますので、誤った方法での組み立てやご使用は決してしないでください。

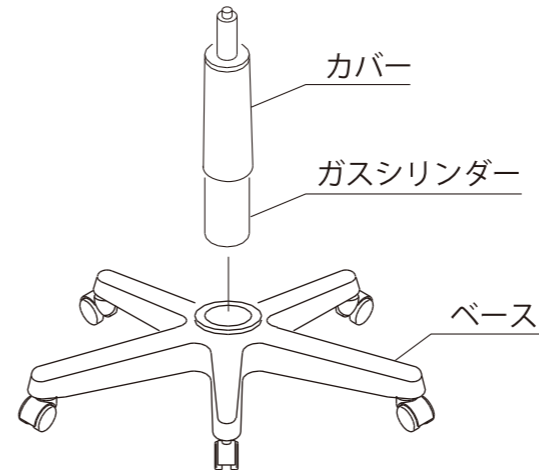


ナカバヤシ株式会社
〒174-8602 東京都板橋区東坂下2丁目5-1
〒536-0005 大阪市城東区中央2丁目1-23
商品に関するお問い合わせはサポートセンターまで
☎0120-166779 10:00~12:00/13:00~17:00
土曜・日曜・祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は「休み」です
<http://www.nakabayashi.co.jp/>
各種ダウンロードサービスのお問い合わせは上記HPで承ります。

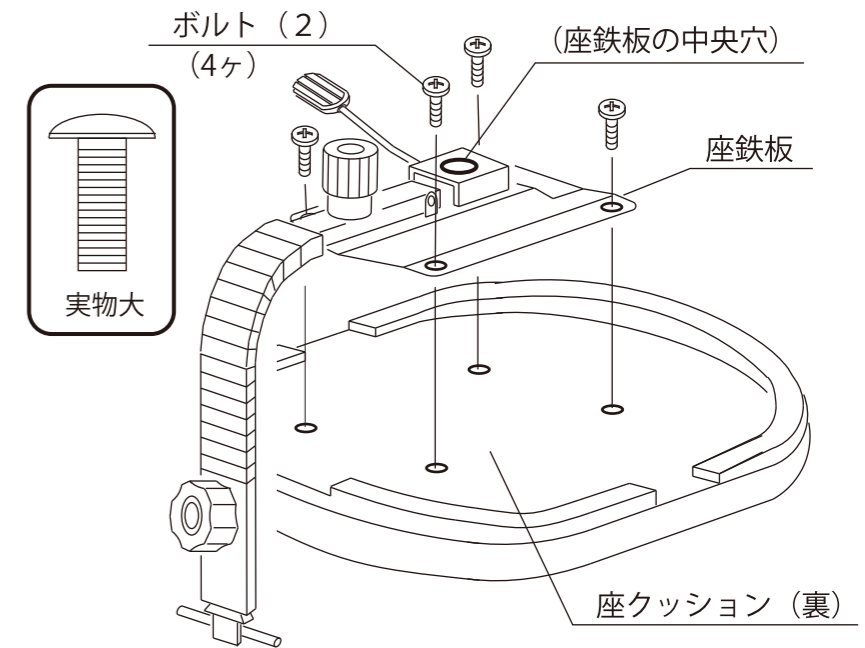
部品明細			
部品形状／部品名称	個数	部品形状／部品名称	個数
ベース (キャスター付き)	1	座クッション	1
ガスシリンダー (カバー付き)	1	背クッション	1
固定カバー	1	【安全上のご注意】 背フレーム (座鉄板付き) 【安全上のご注意】は、取り外さないでください。	1
ボルト (1) (W ¹ / ₄ ×1- ¹ / ₄ in)	2		
ボルト (2) (W ¹ / ₄ ×1 ¹ / ₁₆ in)	4		

1) ガスシリンダー (カバー付き) を、ベースの中央穴に差し込みます。

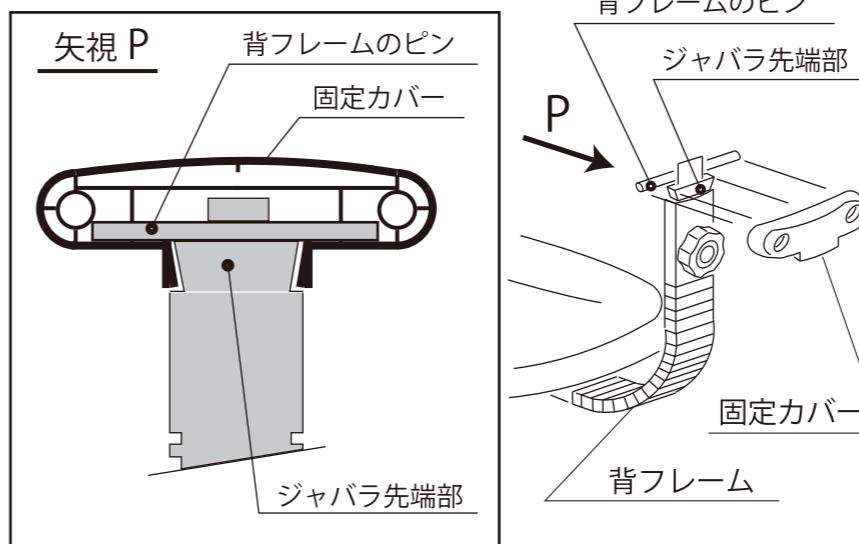
ガスシリンダーにカバーが付いているか、確認してください。



2) 1. 座クッションの裏に、背クッションの座鉄板をボルト (2) で 仮締め します。
2. 仮締めしたボルト (2) を締め付けます。

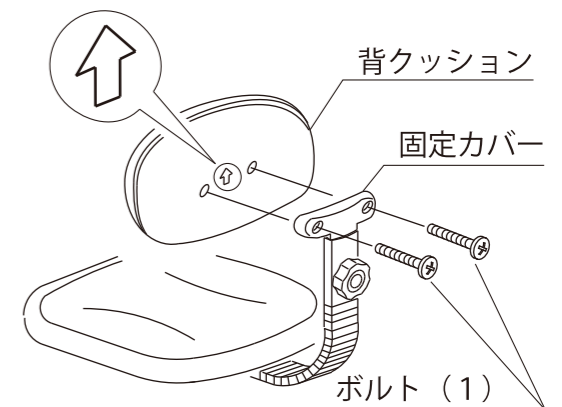


3) 1) 固定カバーの中に、背フレームのピンとジャバラの先端部をはめ込みます。



4) 1) 固定カバーに背クッションを、ボルト (1) で 仮締め します。
2) 仮締めしたボルト (1) を締め付けます。

●背クッションの矢の方向を上にして、取り付けます。

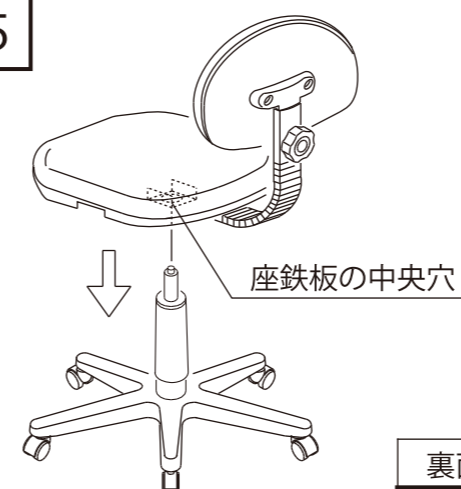


5) ガスシリンダーにカバーが付いているか、確認してください。

1. 座クッションの裏に取り付けた座鉄板の中央穴に、ガスシリンダーの先端をしっかりと差し込みます。

ご確認ください。

1. イスに座って組み立て具合を確かめてください。座鉄板の中央穴にシリンダーをしっかりと差し込んでいないと、昇降レバーを操作してもイスが上下しないことがあります。

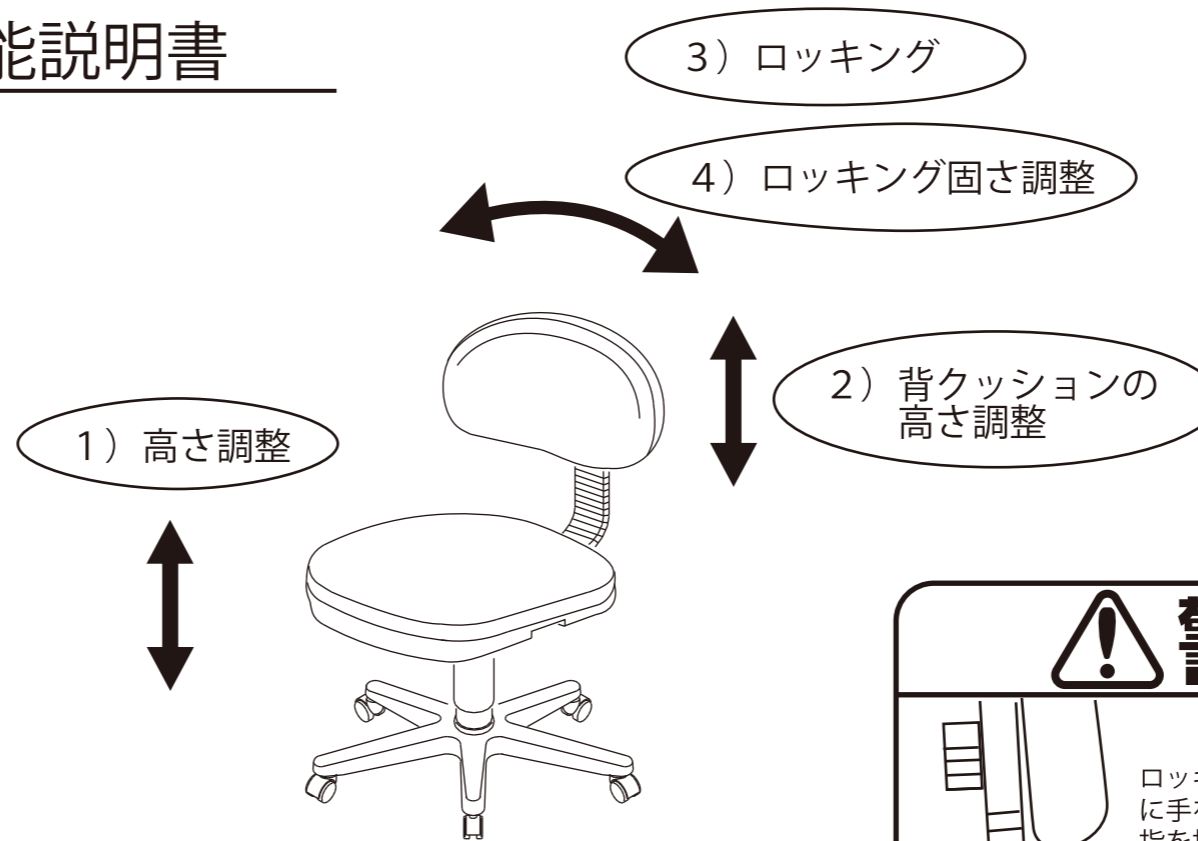


裏面に書いてある機能説明を読んでからご使用ください。 裏面に つづく

OHチェア RZG-201 機能説明書

● 当製品は、次の調整機能を備えています。

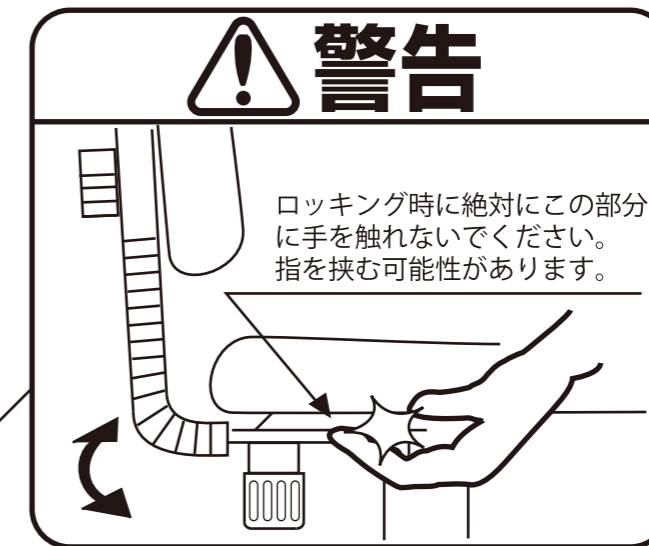
- 1) 高さ調整機能
- 2) 背クッションの高さ調整機能
- 3) ロッキング機能
- 4) ロッキングの固さ調整機能



2) 背クッションの高さ調整機能

調整ノブ（1）を左に2～3回まわして緩めれば、背クッションを上下に移動させることができます。位置が決まれば、調整ノブ（1）を右にまわして、しっかり固定してください。

調整ノブ（1）

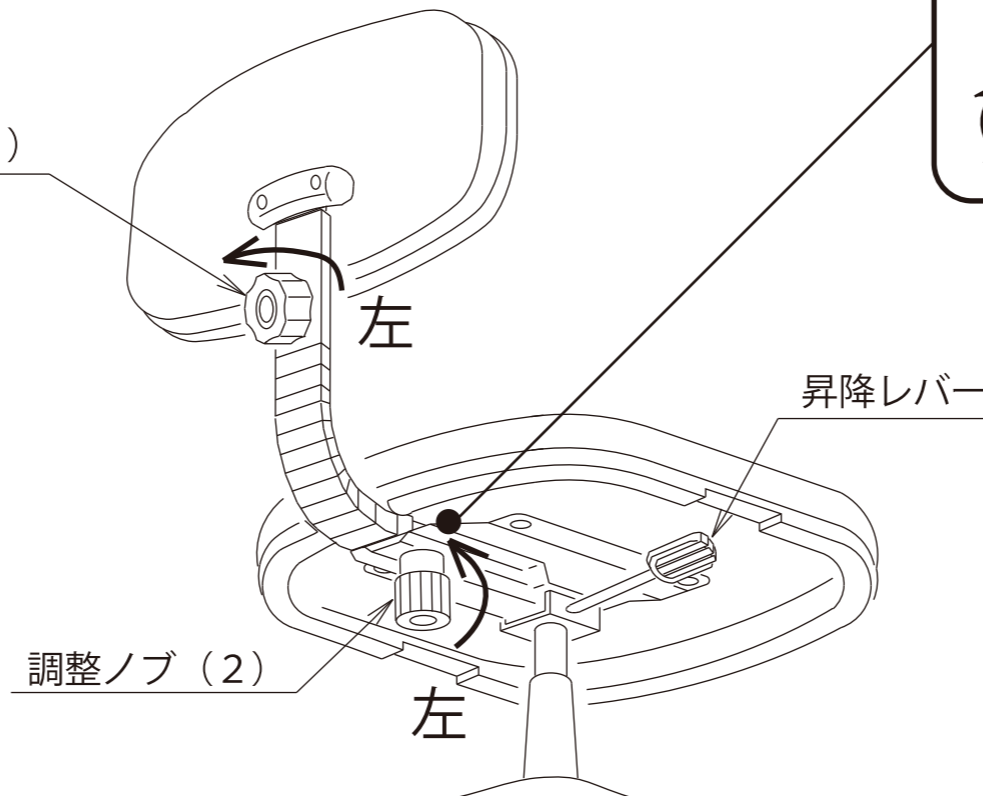


3) ロッキング機能

着座時に背クッションにもたれ掛かることで、背クッションが後方にロッキングします。

4) ロッキングの固さ調整機能

調整ノブ（2）を右に回せば、ロッキングを固くすることができます。調整ノブ（2）を左に回せば、ロッキングを柔らかくすることができます。



1) 高さ調整機能

高さを調整する時は、椅子に座って昇降レバーの操作をしてください。腰を浮かした状態で昇降レバーを上げると、座面が上昇します。座ったまま昇降レバーを上げると、座面は降下します。昇降レバーは、絶対に押し下げないでください。故障の原因となります。

調整ノブと昇降レバーの説明図